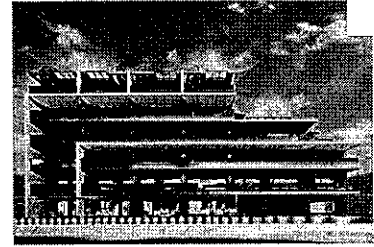


# CASBEE®-建築(新築)

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ブリア川口II 新築工事	階数	地上6F
建設地	埼玉県川口市	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	100人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年10月 予定	評価の実施日	2025年2月12日
敷地面積	1,019㎡	作成者	株式会社辺見地一級建築事務所 邊見 勉
建築面積	568㎡	確認日	2025年2月12日
延床面積	2,334㎡	確認者	株式会社辺見地一級建築事務所 邊見 勉



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO2(温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超+

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	78%
③上記+②以外の	78%
④上記+	78%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Qのスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

音環境	3.2
温熱環境	3.7
光・視環境	3.7
空気質環境	3.6

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

機能性	2.5
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性	2.5

**LRのスコア = 3.4**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	4.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

水資源	3.0
非再生材料の	2.5
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.1

地球温暖化	3.8
地域環境	2.4
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
道路面に対して緑地帯を可能な限り設けることで、周辺環境に配慮した。		LED照明 省エネ設備 複層ガラス
<b>Q1 室内環境</b> 専有部分について、断熱性能等級4とし、高い昼光率を確保している。F☆☆☆☆の建材をほぼ全面的に採用するなど、室内環境の向上に努めている。	<b>Q2 サービス性能</b> 住宅性能評価における劣化対策等級3とし、空調・給排水配管の更新対策にも配慮することで、建物のサービス性能の向上に努めている。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 特になし
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能等級4とし、BEI=0.84としている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> LGS下地を採用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO2排出率78%とし、光害抑制にも配慮した設計としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産-建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版**  
**(版種)ブリシア川口Ⅱ 新築工事**

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				全体	
配慮項目		評価点	重み係数	評価点	重み係数		
<b>Q1 建築物の環境品質</b>						<b>2.3</b>	
<b>Q1-1 室内環境</b>			0.45			<b>3.6</b>	
<b>1 音環境</b>		3.0	1.00	3.3	1.00	3.2	
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.50	3.0	0.50		
1.2 遮音		3.0	0.50	3.6	0.50		
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	5.0	0.30	専有部分:T-2	
2 界壁遮音性能				3.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽衝撃源)				3.0	0.20		
4 界床遮音性能(重衝撃源)				3.0	0.20		
1.3 吸音							
<b>2 温熱環境</b>		2.6	0.35	4.0	1.00	3.7	
2.1 室温制御		3.0	0.50	4.0	1.00		
1 室温		3.0	0.63	-	-		
2 外皮性能		3.0	0.38	4.0	1.00	断熱等性能等級	
3 ゾーン別制御性							
2.2 湿度制御		1.0	0.20	-	-		
2.3 空調方式		3.0	0.30	-	-		
<b>3 光・視環境</b>		2.3	0.25	4.0	1.00	3.7	
3.1 屋光利用		1.8	0.30	4.0	0.50		
1 屋光率		1.0	0.60	5.0	0.50	専有部分:2.0%以上(5タイプ)	
2 方位別開口				3.0	0.30		
3 屋光利用設備		3.0	0.40	3.0	0.20		
3.2 グレア対策		2.0	0.30	4.0	0.50		
1 屋光制御		2.0	1.00	4.0	1.00	レースカーテンとバルコニーで屋光制御	
3.3 照度		3.0	0.15	-	-		
3.4 照明制御		3.0	0.25	-	-		
<b>4 空気質環境</b>		3.6	0.25	3.6	1.00	3.6	
4.1 発生源対策		4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		4.0	1.00	4.0	1.00	F☆☆☆☆の塗材をほぼ全面的に採用	
4.2 換気		3.0	0.40	3.0	0.38		
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理							
1 CO <sub>2</sub> の監視							
2 喫煙の制御							
<b>Q2 カンビズ性能</b>			0.30			<b>2.5</b>	
<b>1 機能性</b>		2.4	0.40	2.6	1.00	2.5	
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性							
2 高度情報通信設備対応				3.0	1.00		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00				
1.2 心理性・快適性		1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース							
3 内装計画		1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理		3.0	0.30				
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50				
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50				
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.0	0.30			3.0	
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50				
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80				
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20				
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.30				
1 躯体材料の耐用年数		5.0	0.20			住宅性能評価における劣化対策等級3	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20				
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		2.0	0.10				
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10				
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0	0.20			主製2用途にB以上、Eは不使用	
6 主要設備機器の更新必要間隔		2.0	0.20				
2.4 信頼性		3.0	0.20				
1 空調・換気設備		3.0	0.20				
2 給排水・衛生設備		3.0	0.20				
3 電気設備		3.0	0.20				
4 構架・配管支持方法		3.0	0.20				
5 通信・情報設備		3.0	0.20				

3 対応性・更新性			3.0	0.30	2.8	1.00	2.8
3.1 空間のゆとり					2.6	0.50	
1 階高のゆとり					3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.0	1.00			
1 空調配管の更新性			3.0	0.20			
2 給排水管の更新性			3.0	0.20			
3 電気配線の更新性			3.0	0.10			
4 通信配線の更新性			3.0	0.10			
5 設備機器の更新性			3.0	0.20			
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)				0.30			1.8
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50			
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.4
ER1 エネルギー				0.40			4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱等性能等級4を超える性能	4.0	0.20			4.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEQ][BEIm]= 0.84	5.0	0.50			5.0
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価							
4.1 モニタリング							
4.2 運用管理体制							
集合住宅の評価			3.0	1.00			
4.1 モニタリング			3.0	0.50			
4.2 運用管理体制			3.0	0.50			
ER2 資源(マテリアル)				0.30			2.7
1 水資源保護			3.0	0.20			3.0
1.1 節水			3.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00			
2 雑排水等利用システム導入の有無							
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60			2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LGS下地を採用	4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70			
1 消火剤							
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50			
3 冷媒			3.0	0.50			
ER3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率78%	3.8	0.33			3.8
2 地域環境への配慮			2.4	0.33			2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25			
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25			
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25			
3 交通負荷抑制			3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33			3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1 騒音			3.0	1.00			
2 振動							
3 悪臭							
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1 風害の抑制			3.0	0.70			
2 砂塵の抑制							
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			3.7	0.20			
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害抑制に配慮している	4.0	0.70			
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30			

# CASBEE埼玉県 重点項目シート












■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

## 1 建物概要

建物名称	(仮称)プリシア川口II 新築工事	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	-----

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.8	+	2.0	=	5.8 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上  	非常によい 6.8以上   	すばらしい 8.0以上    	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.8
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.8
ライフサイクルCO2排出率78%			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	2.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

: 入力欄